

## はじめに

わが国経済は、緩やかな景気拡大を続けている一方で、経済のグローバル化や少子高齢化が急速に進んでおり、さらに地方財政はかつてない危機に直面しているなど、企業とそれを取り巻く地域環境は大きな変革期を迎えております。地域が自立的な発展を続けていくためには、産・学・官・民の連携により、地域の知的資源、物的資源を十分に生かしながら、それらの活用方策を考えていく必要があります。

そのような観点から、岡山県内でも近年、大学の自然科学系学部を中心に知的財産の供与や研究委託等の形で、大学と産業界との連携が進んでまいりました。今後は、企業や地域の経営ノウハウや政策提言の面にも連携のフィールドを広げながら、地域の持続的発展に寄与していくことが重要と考えております。

このため国立大学法人岡山大学経済学部と財団法人岡山経済研究所の共同事業により、地域の活性化に資する共同研究を実施することと致しました。平成18年度は「産地力の持続メカニズムの探求 ～ジーンズ製販ネットワークのフィールド調査～」および「地方都市の自立方策に関する調査研究」と題した2つをテーマに掲げ、共同研究に取り組んでまいりました。

本報告書は「地方都市の自立方策に関する調査研究」の調査研究成果を取りまとめたものです。地域経済や地方財政、地域経営・マーケティングなどの視点から、平成の大合併後の岡山県下の自治体について、データ等により合併の効果を評価しつつ、その自立方策を検討することを研究目的に、岡山大学大学院社会文化科学研究科 中村良平教授、同 平野正樹教授、同 矢吹雄平准教授並びに岡山経済研究所研究員がアンケート調査や先進事例調査結果を踏まえながら執筆致しました。

なお末筆ではございますが、本調査研究の調査の実施に際しまして、ご多忙中にも拘わりませずご協力を頂きました関係者の方々に、厚く御礼申し上げます次第です。

平成19年9月

国立大学法人 岡山大学経済学部  
学部長 榎本 悟  
財団法人 岡山経済研究所  
理事長 永島 旭

# 目 次

序 章	1
第 I 章 地域経済の自立について	4
1. はじめに	4
2. 地域自立の経済学	4
(1) 地域自立の概念	4
(2) マクロ的な地域経済循環	4
(3) 自立を阻む要因	6
(4) 経済循環の必要性	9
3. 地域自立に向けての地域構造分析	9
(1) 人口・雇用	9
(2) 農業生産額、製造品出荷額、商業販売額	12
(3) 個人所得と税収	14
4. 市町村合併の評価	15
(1) 地域内所得格差	15
(2) 地域間競争と合併の効果と課題	17
(3) 地域資源の評価	22
5. おわりに	27
第 II 章 地方自治体財政の自立	29
1. 自治体財政の自立の考え方	30
(1) 財政事情の悪化と少子高齢化への対応	30
(2) 自立に向けた市町村財政問題の所在	33
(3) 市町村の財政自立の意味	34
2. 岡山県内の市町村財政の現状と問題点	36
(1) 市町村財政の現状	36
(2) 県内市町村財政の問題点	42
3. 財政の自立に向けた市町村の課題と方策	43
(1) 市町村財政が抱える当面の課題	43
(2) 財政自立(健全化)のための方策	44
第 III 章 自立に向けた地域経営	47
1. 「マーケティング」概念の理論的/実務的な重要性/有効性	48
2. “マーケティング・ネットワークの地域モデル”	50
(1) “<基本>モデル”と“<包括>モデル”	50
(2) “マーケティング・ネットワーク”構築の諸条件	52
(3) “マーケティング・ネットワーク”の現実的/理論的有効性	54
3. “モデル”の構築手段 / 成果としての「地域ブランド」	56
(1) 既存研究とその限界	56

(2) 長野県小布施町の事例 .....	57
(3) 「地域ブランド」の構造 .....	59
(4) 「地域ブランド」の構造を踏まえた小布施町の分析と岡山県下の状況 .....	60
4. 「個人の自立」----「住民」「商人」「農業人」として----	62
(1) 「農家」としての自立 ----コスモス広場利用組合----	62
(2) 「住民」としての自立 ----まちのカルシウム工房----	64
(3) 「商人」としての自立 ----豊後高田昭和の町----	65
5. 結びに代えて.....	67
第IV章 アンケート調査結果 .....	70
1. アンケート調査の概要 .....	70
2. 地域の自立に関する活動について .....	71
(1) 資源の集積水準および活動状況についての評価 .....	71
(2) 資源の集積について特に優れたもの、十分に備わっているものについて .....	72
(3) 資源の集積について特に不足しているものについて .....	73
(4) 地域資源を活用したブランド化について .....	75
(5) 地域おこしの活動について .....	76
(6) 地名のブランド化について .....	80
(7) 地域おこし活動の主体間の相互協力活動について .....	81
(8) 資源の活用状況、地域おこし活動等の総合評価について .....	84
(9) 今後新たに実施を予定している(あるいは検討中の)地域活性化策について .....	85
2. 財政について.....	86
(1) 当面の財政課題について .....	86
(2) 財政健全化のための処方箋について .....	90
3. 合併関連について .....	92
(1) 合併のプラス効果についての評価 .....	92
(2) 合併により生じている課題.....	96
(3) 合併しなかった結果.....	96
第V章 先進事例調査 .....	97
1. 先進事例.....	97
(1) 訪問先 .....	97
(2) 訪問時期 .....	97
(3) 聞き取り調査の内容.....	97
2. NPOまちのカルシウム工房 .....	98
(1) 事例の概要 .....	98
(2) 地域の概要 .....	98
(3) 活動内容 .....	98
(4) 現在までの成果・成功要因 .....	99
(5) 活動を推進する上での課題.....	100

(6) 参考となること .....	100
3. 門司港レトロ倶楽部 .....	101
(1) 事例の概要 .....	101
(2) 地域の概要 .....	101
(3) 活動内容 .....	101
(4) 門司港地区におけるまちづくりの中での役割・位置づけ .....	102
(5) 現在までの取組みの成果、成功要因など .....	102
(6) 活動を推進する上での課題 .....	103
(7) 今後の方向性について .....	103
(8) 参考となること .....	103
4. 臼杵市における行財政改革 .....	104
(1) 臼杵市における行財政改革の概要 .....	104
(2) 地域の概要 .....	104
(3) 臼杵市の行財政改革の概要 .....	104
(4) 具体的な施策 .....	104
(5) 取組みの成果・課題 .....	105
(6) バランスシート・サービス形成勘定等財務諸表について .....	105
(7) 行財政改革の中での役割・位置づけ、活用方法 .....	106
(8) 参考となること .....	106
5. 豊後高田観光まちづくり株式会社 .....	107
(1) 事例の概要 .....	107
(2) 地域の概要 .....	107
(3) 設立に至った経緯 .....	107
(4) 活動内容 .....	109
(5) 「昭和の町」に関する現在までの成果、成功要因など .....	109
(6) 今後の方向性について .....	109
(7) 参考となること .....	109
6. 春日市役所 .....	110
(1) 事例の概要 .....	110
(2) 地域の概要 .....	110
(3) 春日市の行政改革 .....	110
(4) 民間委託による成果 .....	111
(5) 民間委託を推進する上での課題 .....	111
(6) 参考となること .....	111
7. コスモス広場利用組合について .....	112
(1) 事例の概要 .....	112
(2) 地域の概要 .....	112
(3) 業務の内容 .....	112

(4) 客層、農家の状況 .....	113
(5) 現在までの取組み、成果、成功要因など .....	113
(6) 活動を推進する上での課題 .....	113
(7) 今後の方向性について .....	113
(8) 参考となること .....	114
資料編	
合併後の市町村の姿 .....	116